

令和5年度第1回浜田市保健医療福祉協議会 会議録

会 議 名	令和5年度 第1回浜田市保健医療福祉協議会
開 催 日 時	令和5年6月13日（火）18：30～20：00
開 催 場 所	浜田市役所4階 講堂A B
会 議 の 担 当	健康福祉部 地域福祉課
議 題	1 各種計画の進捗状況等について 2 高齢者福祉計画等、各種計画の改定について
公開・非公開	公開（傍聴者0名）

【出席者】

委 員 (14名)	笠田委員、中島委員、角委員、佐々木良二委員、川神委員、栗栖委員、室崎委員、布施委員、河野委員、長谷川委員、西村委員、宮木委員、三浦委員、鶴川委員
事務局 (14名)	猪木迫健康福祉部長、河内地域福祉課長、椋木健康医療対策課長、河上地域医療担当課長、大賀健康増進担当課長、松山子ども・子育て支援課長、龍河子育て世代包括支援担当課長、齋藤高齢者福祉係長、西川高齢者福祉係専門技術員、野上健康づくり係長、高野高齢者福祉係専門技術員、岩地健康づくり係専門技術員、大下障がい福祉係長、小驛地域福祉係長

- 1 会議成立報告  
20名中14名の出席により、委員の半数を満たす。
- 2 健康福祉部長挨拶
- 3 【報告事項】各種計画の進捗状況等について  
資料No.1～No.7について、資料により進捗状況を説明。

(1) 地域福祉計画（報告資料No.1）

質疑なし

(2) 障がい者計画、障がい福祉・障がい児福祉計画（報告資料No.2）

委 員	地域生活支援拠点の整備について13事業所の登録を行ったということであったが、登録の要件はどのようなものか。
事務局	特に要件というものではないが、利用者からの相談対応や緊急時の短期入所等、地域生活支援拠点として対応できる事業所について、登録していただいている。

【裏面へ】

委員	地域生活支援拠点があっても、利用者が制度を知らなければ残念な結果になってしまう。利用者への啓発について、今後の取組があるか。
事務局	利用者への啓発は課題であると認識している。今現在サービスを利用していない潜在的な対象者については、市だけで把握することは難しいと考えており、相談支援事業所や基幹相談支援センターと連携をしながら、できるだけ多くの方に利用していただけるよう努めて参りたい。

(3) 高齢者福祉計画（報告資料 No. 3）

委員	在宅医療と介護の連携強化のため、多職連携種勉強会を3回開催したとのことであるが、勉強会で見えてきた課題や成果はあるか。
事務局	勉強会は医師をはじめ、保健医療関係者がチームとなって行ったものであるが、目標は在宅介護への移行であり、そのために勉強会を重ねた。今後は各関係機関と連携し、そのためのシステムづくりを行いたいと考えている。
委員	連携について、どのように進めていくか模索している状況ではないかと思う。今後システムづくりをするにあたり、具体的にどのように関係団体でネットワークづくりを行うか、方針があれば伺いたい。
事務局	現在、在宅医療・介護連携支援センターを設置し、市が直営で運営を行っているが、まず、センターの機能をどのように位置づけるかを関係機関との会議を重ねるなかで、しっかりと話し合うことが重要であると考えている。
委員	高齢者クラブ連合会の支援について、自分の住む地域では浜田市社会福祉協議会（以下：社協）が事務局を担っているが、それ以外の各クラブの連携はどのようになっているか。
事務局	高齢者クラブ連合会は浜田地域に本部があり、金城地域・旭地域・弥栄地域・三隅地域に支部がある。浜田地域以外は、各支所の社会福祉協議会が事務局を担っており、それぞれの地域で連携している。
委員	浜田市に高齢者はたくさんいるが、高齢者が活動するためのコーディネーターとなる人があまり見当たらない。高齢者クラブ連合会の事務局を担当する社協に働きかけて、こうした人材へアプローチを行うことを強くお願いしたい。

【裏面へ】

(4) 健康増進計画（報告資料 No. 4）

委員	がん対策の推進のための取組として、高校生に対して出前講座を実施したとのことであるが、どの程度実施したか、また、実施しての評価はどのようなものであったか。
事務局	市内の高等学校1校で出前講座を実施した。高校生の感想を見ると、実際にがんになった人の体験などを聞き、とても勉強になったとの意見を多くいただいている。また島根県においても、がんの相談支援員等が学校に出向き、様々な普及啓発をしている。
委員	心の健康づくりの推進のための取組について、中高年ひきこもり支援事業を民間事業者に委託したとあるが、これに至る経緯はどのようなものか。
事務局	この事業を実施可能な事業者を公募したところ、1事業者のみ応募があったので、事業者選定審査会で審議のうえ決定した。
委員	行政の仕事に民間事業者の力を借りることについては、浜田市協働のまちづくり推進条例等でも掲げられているので、今度も民間事業者と協働し、様々な事業を進めていただきたい。

(5) 食育増進計画（報告資料 No. 5）

質疑なし

(6) 自死対策総合計画（報告資料 No. 6）

質疑なし

(7) 子ども・子育て支援事業計画（報告資料 No. 7）

質疑なし

5 【議題事項】

(1) 浜田市高齢者福祉計画等の改定について（協議資料 No. 1～No.3）

事務局	今年度改定を行う、高齢者福祉計画、障がい福祉計画、障がい児福祉計画、子ども・子育て支援事業計画について、それぞれ専門機関の団体等で構成される専門部会を設置し、改定作業を進めたいと考えている。専門部会の設置についてご了承をいただきたく、ご審議をお願いする。
委員	子ども・子育て支援事業計画については、2か年度をかけて改定するとのことであったが、どのようなスケジュールで実施するのか。

【裏面へ】

令和 5 年度第 1 回浜田市保健医療福祉協議会 会議録

事務局	令和 5 年度にはまずアンケート調査を実施する。本日承認をされれば、計画の専門部会を設置し、アンケート内容について決定する。アンケートの集計結果については、令和 6 年 1 月に開催予定の保健医療福祉協議会にて報告をする予定としている。
-----	--

(2) 決議について

各計画策定のため専門部会を設置することについて可決。